



水田転換畑での春まきたまねぎ栽培におけるリン酸施肥効果

【1 成果の概要】

水田転換 2～4 年目は場での春まきたまねぎ栽培において、リン酸45kg/10a施肥することにより、慣行の30kg/10a施肥した場合と比較して1球重が約15%増加し、商品収量が20%増加します。

表1 リン酸施肥量とたまねぎの1球重、腐敗、収量との関係 (R2-R4)

処理区 注2)	1球重		腐敗 球率(%)	裂皮 割合(%)	出荷規格割合 (%)					商品収量	
	(g)	慣行比			2L	L	M	S	外	(t/10a)	慣行比
減肥 (15)	161.9	(88)	6.3	0	0	13	32	43	11	3.09	(84)
慣行 (30)	202.9	(100)	10.6	0.6	2	29	51	18	0	4.03	(100)
増肥 (45)	211.9	(115)	4.2	1.7	3	33	46	15	2	4.38	(120)

増肥区は慣行比
20%増収

注1) 収量は、規格外、腐敗球、障害球を除いたもの

注2) () 内は各区の基肥リン酸施用量 (kg/10a)



写真1 生育状況 (R4.6 調査)



写真2 試験圃場の様子 (R2)

表2 リン酸施肥量の違いによる損益試算 (円/10a)

	標準	増肥	減肥
販売額 注1)	219,563	262,719	185,240
うちリン酸施肥による増加分(A) 注2)	-	43,156	▲34,324
慣行に対するリン酸肥料費差額(B) 注3)	-	9,926	▲9,926
リン酸施肥による損益(A-B)	-	33,230	▲24,398
慣行比		(115)	(89)

注1) 収量は R2～R4 の平均、販売単価 60 円/kg で試算

注2) (A) : 慣行区の販売額－試験区の販売額

注3) R4.6 時点の価格 (重過石 (約 4,500 円/現物 20kg)) で試算

【2 留意事項】

- (1) 本成果は、ほ場条件が整わない畑転換後数年間の春まきたまねぎ安定生産を目的としたものです。
- (2) 土壌タイプ、碎土率、排水性の違いによりリン酸の施肥効果は異なる可能性があります。
- (3) 作付前に土壌診断を行い、ほ場の可給態リン酸含量を確認しましょう。
- (4) リン酸増肥による利益は、肥料費の増加分を差し引いても、慣行に対して+33,230 円/10a (慣行比 115%) と試算されました (表2)。
- (5) 詳細は令和4年度試験研究成果をご覧ください。